

＜主研究分野1：建築・都市空間の計画・設計、調査分析＞

- **(高付加価値)住宅／(屋上緑化等)都市空間の設計提案または調査分析**
 - ・斜面地における地形・自然を生かした住宅の提案（寺田敬亮）
 - ・CS重視型コーポラティブ住宅（古谷司）
 - ・新吉野児童センターの設計提案（道上雅哉）
 - ・ビルオーナーの意識調査に基づく屋上緑化の普及方策に関する研究（2007日村亜紗美）（2008富樫航海）
 - ・下町三区の緑化に対する政策の比較・分析（2008高木政明）
- **商業施設等の店舗計画、インテリアデザイン、ファサード設計または調査分析**
 - ・街の環境にとけ込んだCafe & Bar（渡辺雅章）
 - ・シティホテルの客室空間構成に関する研究—日本らしさ、北欧らしさを対象として—（2008市川園）
- **公共施設／街並み・外部空間の設計提案または調査分析**
 - ・日伊両国の都市づくり関連事例の比較研究～日本の活きた都市づくりのために～（2007直江麻祐子）
 - ・戸建住宅の色彩の構成・材料との関係性に関する基礎的研究（2007藤松英大）
 - ・土地区画整理事業が周辺の農業活動に及ぼす影響についての調査分析（2008田沼望実）
 - ・動線調査による両側町としての千葉工業大学芝園キャンパスの評価（2008中村真衣）

＜主研究分野2：建築物、建築部品、構法システム等の研究開発＞

- **建築設計生産の工業化手法（システムビルディング／工業化住宅等）の研究**
 - ・橋木におけるプレキャストシステムの適用の現状と課題（関根正人）
 - ・地域産材利用の支援組織・活動に関する研究（2008井口英幸）
 - ・地域特性と建築構法の関連性についての調査・分析（2008時任毅志）
 - ・分譲住宅団地の構法手法に関する研究—構法、色彩、材料と多様性—（2008木下大輔）
- **可変型／多機能型／加齢対応型建築・住宅部品の研究・開発**
 - ・交換可能な柱継手・仕口の提案（菊池直美）
 - ・若年層の住宅意識調査に基づく長寿命住宅の普及方策に関する研究（2008錦洋佑）
 - ・高齢者の身体機能と日常行動・意識に関する調査・分析（2008赤石英彰）
 - ・若年層の住宅に対する安全意識と要求水準に関する研究（2008高橋直也）
- **MC（モジュラーコーディネーション）／コンバージョン／ユニバーサルデザイン対応技術等の研究**
 - ・既存建築物のコンバージョンプロセスの精緻化に関する基礎的研究（2007磯崎亜利沙）
 - ・戸建住宅における外部アプローチ空間のユニバーサルデザイン化に関する研究（2007川尻真由）
 - ・安藤忠雄の建築作品におけるパネルの割付方法に関する研究—コンクリート打放し建築を対象にして—（2008時田勉）

＜主研究分野3：設計・生産手法の高度化関連の研究＞

- **新たな設計手法／表現手法の研究・提案**
 - ・幾何学的四次元空間構成手法の実用化に関する研究（フィルザウタマ）
 - ・仮想環境における四次元空間構成の特性分析（フィルザウタマ）
- **CALS/EC（建設IT）関連高度化・情報化技術の研究開発**
 - ・建設情報標準分類体系JCCSの開発（寺井）
 - ・各国建設情報分類体系の比較分析（寺井）
 - ・CADデータ交換仕様SXFの開発（寺井）
- **設計生産プロセスの最適化、設計情報管理活用手法の研究**
 - ・各国BIMマニュアルの構成内容に関する比較分析（寺井）
 - ・中小企業向けICT活用システムの研究（寺井）
- **三次元建築（プロダクト）モデルの構築研究**
 - ・オブジェクト指向建築生産統合化手法の研究（寺井）

＜主研究分野4：ICT、情報デザイン分野の研究・制作＞

- **高度情報機器（CAD,CG,VR等）の活用研究**
 - ・現代におけるCG技術とその可能性について（伊東康紀）
- **インターネット利用技術、ホームページ、各種データベース等の構築活用技術の研究**
 - ・中間組織としての建設業協会における情報提供の現状と課題（2007増田有哉）
 - ・パブリックコメント制度の現状と課題（2007島村将宏）
- **サイン計画、色彩計画等のビジュアル情報、デザイン情報学関連テーマ**
 - ・住宅地におけるカラーコーディネートのある方（渡部瞬）

IT 設計方法

寺井 達夫 准教授
構法計画、建築生産
建築情報システム

「統合的建築生産システムの実現に向けて」
「CAD、CG、マルチメディア技術、CALS／EC
の現状と課題」など。建築および建設分野に
おけるデザイン関連要件の分析、設計生産
手法などの合理化、高度化技術、建設情報
の標準化、工業化建築・住宅などに関する研
究を行う。研究分野は設計生産体系全体を
広範に扱うシステム方法論の展開、応用課
題別のシステム構築、関連技術教育など。